

平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 エムビーエス
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 貴士
 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-37-6585

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	1,144	18.4	93	121.9	106	95.3	62	110.3
25年5月期第3四半期	966	12.4	41	△36.0	54	4.6	29	14.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	102.86	102.47
25年5月期第3四半期	48.26	48.09

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	1,600		658	41.1			1,085.17	
25年5月期	1,352		586	43.4			965.01	

(参考)自己資本 26年5月期第3四半期 658百万円 25年5月期 586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	20.1	123	86.4	126	46.5	76	58.3	122.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期3Q	619,500 株	25年5月期	619,500 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

26年5月期3Q	14,400 株	25年5月期	11,400 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期3Q	607,001 株	25年5月期3Q	615,365 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕P.3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和や政府の経済政策への期待感などから円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費に明るさが戻るなど、景気回復の兆しが見受けられたものの、一方では円安による原材料価格の上昇や、消費税増税による消費減退への懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間設備投資も一部では持ち直す動きが見られたものの、労務費を中心とした建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、新たに千葉支店を設置するとともに、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材育成も積極的に行い、業容拡大や収益力の向上を図って参りました。

これらにより、当第3四半期累計期間における売上高は、1,144,855千円（前年同期比18.4%増）、営業利益は、93,044千円（前年同期比121.9%増）となりました。また、経常利益は、外国社債に関する有価証券利息11,179千円、支払利息2,437千円等の計上により、106,159千円（前年同期比95.3%増）となり、四半期純利益は、法人税等の計上により、62,436千円（前年同期比110.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、第2四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事などの増加により、売上高は1,015,436千円（前年同期比14.7%増）となり、セグメント利益は169,227千円（前年同期比44.9%増）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事などの増加により、売上高は127,794千円（前年同期比81.2%増）となり、セグメント利益は13,557千円（前年同期比1,465.5%増）となりました。

(その他)

不動産事業、加盟店関連事業などで構成されるその他の事業におきましては、当第3四半期累計期間において不動産売買取引や不動産仲介手数料などが発生せず、また、材料販売などの減少により、売上高は1,624千円（前年同期比85.4%減）となり、セグメント利益は450千円（前年同期比89.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ248,075千円増加し、1,600,931千円となりました。これは主に、有形固定資産の147,983千円の増加、未成工事支出金の95,586千円の増加、受取手形の22,560千円の増加などによるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ176,199千円増加し、942,232千円となりました。これは主に、短期借入金の155,000千円の増加、未払法人税等の11,591千円の増加などによるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ71,875千円増加し、658,699千円となりました。これは主に、利益剰余金の62,436千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期業績予想につきましては、平成26年1月8日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	181,983	148,407
受取手形	52,510	75,070
完成工事未収入金	190,530	145,364
売掛金	4,843	5,482
原材料及び貯蔵品	21,244	28,073
未成工事支出金	63,304	158,891
販売用不動産	1,769	1,769
その他	12,446	24,854
貸倒引当金	△5,184	△4,568
流動資産合計	523,448	583,344
固定資産		
有形固定資産	115,782	263,766
無形固定資産	890	272
投資その他の資産		
投資不動産	320,567	320,567
投資有価証券	315,346	334,974
その他	87,850	109,015
貸倒引当金	△11,029	△11,008
投資その他の資産合計	712,734	753,547
固定資産合計	829,407	1,017,587
資産合計	1,352,856	1,600,931
負債の部		
流動負債		
工事未払金	157,176	156,865
買掛金	15,890	24,968
短期借入金	—	155,000
1年内返済予定の長期借入金	81,699	81,735
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	17,562	29,153
完成工事補償引当金	42,957	49,135
その他	42,101	95,688
流動負債合計	367,388	602,546
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	339,716	278,411
資産除去債務	3,141	3,356
その他	35,786	42,918
固定負債合計	398,644	339,686
負債合計	766,032	942,232

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	185,012	185,012
資本剰余金	165,642	165,642
利益剰余金	184,871	247,307
自己株式	△8,664	△11,904
株主資本合計	526,861	586,057
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	59,962	72,641
評価・換算差額等合計	59,962	72,641
純資産合計	586,823	658,699
負債純資産合計	1,352,856	1,600,931

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	966,910	1,144,855
売上原価	706,099	809,843
売上総利益	260,810	335,012
販売費及び一般管理費	218,872	241,967
営業利益	41,938	93,044
営業外収益		
不動産賃貸収入	2,922	3,320
有価証券利息	8,644	11,179
その他	5,606	2,256
営業外収益合計	17,173	16,757
営業外費用		
支払利息	3,164	2,437
その他	1,580	1,204
営業外費用合計	4,745	3,642
経常利益	54,366	106,159
特別利益		
投資有価証券売却益	1,150	—
特別利益合計	1,150	—
税引前四半期純利益	55,516	106,159
法人税、住民税及び事業税	23,915	45,015
法人税等調整額	1,905	△1,292
法人税等合計	25,821	43,723
四半期純利益	29,695	62,436

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年11月20日開催の臨時取締役会における自己株式の取得決議に基づき、平成24年11月22日付で自己株式11,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が8,664千円増加し、当第3四半期会計期間末において8,664千円となっております。

当第3四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年11月20日開催の臨時取締役会における自己株式の取得決議に基づき、平成25年11月21日付で自己株式3,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が3,240千円増加し、当第3四半期会計期間末において11,904千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	885,258	70,511	955,770	11,140	966,910
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	885,258	70,511	955,770	11,140	966,910
セグメント利益	116,811	866	117,678	4,474	122,152

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、加盟店関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,678
「その他」の区分の利益	4,474
全社費用(注)	△80,214
四半期損益計算書の営業利益	41,938

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,015,436	127,794	1,143,231	1,624	1,144,855
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,015,436	127,794	1,143,231	1,624	1,144,855
セグメント利益	169,227	13,557	182,785	450	183,235

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、加盟店関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,785
「その他」の区分の利益	450
全社費用(注)	△90,191
四半期損益計算書の営業利益	93,044

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期累計期間から「不動産事業」について、量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。